

## 会 議 録

会議名	令和6年度第1回印西市地域福祉計画推進委員会 会議
開催日時	令和6年12月18日（水） 午後2時00分から午後4時00分まで
開催場所	市役所 204会議室
出席委員	松山毅委員長、矢野忠行副委員長、大下誠委員、嶋田孝雄委員、近藤幸一郎委員、三島木健委員、岩本清委員、平野浩二委員、笠井幸夫委員、田畑一生委員、篠田吉範委員、塚田昌幸委員、鈴木幸子委員、佐久間郁美委員、御子柴寛委員 計15名
欠席委員	0名
出席職員等	[事務局] 社会福祉課 澤田課長、山田課長補佐、坂巻係長、山崎主査、河村主任主事
傍聴者	なし
会議次第 議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委嘱状の交付</li> <li>3 市長挨拶</li> <li>4 委員及び事務局紹介</li> <li>5 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 委員長及び副委員長の選出について</li> <li>(2) 地域福祉計画について</li> <li>(3) 第5次印西市地域福祉計画策定に係るアンケート調査の結果報告について</li> <li>(4) 地域福祉計画策定に向けて今後の進め方</li> </ol> </li> <li>6 その他</li> <li>7 閉会</li> </ol>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議次第</li> <li>・印西市地域福祉計画推進委員会名簿</li> <li>・印西市地域福祉計画推進委員会設置条例</li> <li>・第4次印西市地域福祉計画</li> <li>・【資料1】「地域福祉」とは</li> <li>・【資料2】印西市地域福祉計画アンケート結果速報</li> <li>・【資料3】第5次印西市地域福祉計画策定の基本方針について</li> </ul>

### 会議概要・審議経過

1 開 会	<p>【事務局】 「令和6年度第1回印西市地域福祉計画推進委員会」を開会します。 資料の確認、会議の公開と会議録作成のための録音、会議の傍聴について報告</p>
2 委嘱状の交付	
3 市長挨拶	

【市長】 挨拶

#### 4 委員及び事務局紹介

【事務局】 委員及び事務局紹介

#### 5 議事

【事務局】 会議は、印西市地域福祉計画推進委員会設置条例第6条第1項の規定により委員長が議長となりますが、委員長が選任されていないため、臨時の議長を澤田社会福祉課長が務めるということでよろしいでしょうか。異議がないようですので、澤田社会福祉課長を議長とします。

【仮議長】 委員長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

本日の出席委員は15名です。印西市地域福祉計画推進委員会設置条例第6条第2項の規定により、過半数以上の出席ですので、会議が成立することを申し添えます。議事録署名人の指名は、委員長及び副委員長の選出後、委員長に指名していただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

#### 議題（1）委員長及び副委員長の選出について

【仮議長】 委員長及び副委員長の選出は、印西市地域福祉計画推進委員会設置条例第5条第1項の規定により、委員の互選により選出するとなっております。どなたかお引き受けいただける方、または委員長及び副委員長に適任と思われる委員の推薦をお願いします。

【D委員】 委員長は、前委員会において任期満了まで委員長を務められ、福祉行政に関わる学識経験のある松山委員にお願いしたいと思います。

副委員長は、民生委員・児童委員として地域福祉活動をされている矢野委員にお願いしたいと思います。

【仮議長】 委員長に松山委員、副委員長に矢野委員との意見がありましたが、いかがでしょうか。異議がないようですので、松山委員に委員長を、矢野委員に副委員長をお願いしたいと思います。

ここからの進行につきましては、印西市地域福祉計画推進委員会設置条例第6条第1項の規定により、松山委員長にお願いいたします。これをもちまして、仮議長の任を解かせていただきます。

【事務局】 松山委員長は委員長席に移動し、一言ご挨拶をお願いします。

【C委員】 挨拶

議事録署名人として、名簿順に大下委員と嶋田委員を指名します。

#### 議題（2）地域福祉計画について

- 【議 長】 「地域福祉計画について」、事務局から説明をお願いします。
- 【事務局】 議事(2)について説明
- 【議 長】 事務局から説明がありましたが、ご意見やご質問等はございますか。  
委員会の位置づけや役割についての説明でした。現計画を来年度まで推進しながら、次の計画を策定するわけですが、策定をしながら現計画の評価もしつつ、それを踏まえて次の計画に生かしていくということです。この後詳しいスケジュール等の説明もありますが、そういう位置づけの委員会であるということです。
- 【G 委員】 第4次の計画が令和3年度からスタートしていますが、推進委員会が継続的に開催され、第4次の検証も含めた話をしてきたと思われま。そこではどうい話し合いがなされ、どういところに問題点があるのか等も含め、資料を出していただきたいと思いま。それにより、本委員会の話し合いもスムーズに進むのではないでしようか。
- 【事務局】 おっしゃる通りです。ここで委員も新しく変わり、毎年1回行っていた第4次計画の進行管理で、どうい課題があり、どうい意見が出たのか等については、次の計画策定の参考になってくと思われため、皆様にお示ししたいと思いま。次回の会議は3月頃を予定していますが、できればその前に資料は郵送等でお送りしますので、次の会議までに目を通し、ご意見をいただきたいと思いま。
- 【G 委員】 よろしくお願います。
- 【議 長】 次回の会議の時には、これまでの推進状況と成果・課題について整理したものを示していただくため、それを基に積み上げていきたいと思いま。その他いかがでしようか。
- 【F 委員】 組織体について、推進本部と幹事会とが後ほどできるということですが、今はまだ設置されていないのですか。社会福祉課の方がメンバーになるということですか。
- 【事務局】 推進本部と幹事会は、庁舎内の組織です。設置要綱上の準備はできていますが、計画策定が進む中で開催されるものですのでまだ集まっはいません。本部会議は市長をはじめとした部長クラスのメンバーで構成され、幹事会は関係課長をメンバーとする組織です。
- 【F 委員】 あまり会議体が多いとなかなか進まないと思いますが、上の方たちの組織ということですね。
- 【事務局】 庁内の体制です。
- 【議 長】 本計画は行政計画ですので、市長が議会にかけて承認をいただかなければ正式なものにはならず、通った場合には予算が付くということですから実現しなければなりませ

ん。ここで決まったことがそのまま上がるわけではなく、庁内で調整が入る可能性があります。しかし、市長がおっしゃられたように、ここでは自由に話し合い、さまざまなアイデアを出し、それらを事務局に訴え、実現できるように本部会や幹事会を説得していただきたいと思います。話し合いながら進めていくための組織としての手続きが必要ですので、大事な質問だと思います。

### 議題（3）第5次印西市地域福祉計画策定に係るアンケート調査の結果報告について

【議長】 「第5次印西市地域福祉計画策定に係るアンケート調査の結果報告について」、事務局から説明をお願いします。

【ジャパン総研】 議事(3)について説明

【議長】 10月から12月にかけて行われたアンケート調査について、速報値をご報告いただきました。ご意見やご質問等はございますか。

【B委員】 2ページの「居住地区」において、「ニュータウン中央北」「船穂・牧の原」「ニュータウン中央南」で60%ぐらいになっていますが、それらの地域とその他の地域とでは市民の意識感覚が違うのではないかと思います。結果を平均してしまうと、どこの地域でどんな課題があるのか浮き彫りにしにくいのではないのでしょうか。人口が多い所とそれ以外の所でどんな反応が出ているのか、居住地域ごとに比べてみると、特徴が出て、それに対する必要な対応がわかると思うのですがいかがでしょうか。

【事務局】 今日はまだアンケートが終了したばかりですので、速報値ということで結果だけお示ししています。年齢別や地区別の集計をお願いしていますので、地区の特徴等に関しては今後お示ししていきたいと思います。

【B委員】 せっかくの生のデータであり、意味のあるものが含まれていると思いますので、ぜひ、いろいろな角度から分析していただきたいと思います。

【議長】 その他いかがでしょうか。

【A委員】 このアンケート調査は、今回初めて行われたものですか。継続的に実施しているものですか。

【事務局】 アンケートは、地域福祉計画を策定する前に行っているもので、前回は5年前に実施しています。項目は、同じものもあれば追加したものもあり、同じ項目については前回と比較することで見えてくる傾向もあるかと思います。今日の資料を見ただけでは、どのような質問項目があったのかわからないと思いますので、後ほど準備しお示ししたいと思います。

【議長】 調査についての詳細な分析が次の会議の議事ですので、ぜひ調査票も付けて用意していただきたいと思います。その他いかがでしょうか。

【G 委員】 来月、地域包括の5圏域ごとに懇談会を実施すると思いますが、それまでにこの数字は確定し分析ができるのでしょうか。

2つめは、「住居地区」はここに書いてある通りでいいのですか。地域包括の担当区分ごとにしないと、話は先に進まないと思います。

3つめは、船穂地域包括は、元々の住民の古いまちとニュータウンのまちがあるのですが、きちんと分けて出していただかないと難しいと思います。例えば、原小学校は児童数が1200人を超え、西の原小学校も500人近くとなっていますが、船穂小学校は全校で50人という小規模特認校となっています。その辺の区分けもしっかりとしながら資料を提出してもらわないと、話が進まないと思います。

【事務局】 まず、地域懇談会は2月を予定しています。それまでに地域ごとに分析し、特徴をお示しできるようにした上で、地域懇談会に臨みたいと思います。

また、居住地区は、アンケート自体はもっと細かく聞いているため、地区によってどうなるかは、分析の仕方により出せると思います。

【ジャパン総研】 今回お示したアンケート調査の結果は、入力がやっと間に合ったという段階のものでしたが、今後、地区別や年齢別の分析も行う予定です。居住年数別も重要だと考えていますので出したいと思います。一方でご相談したいのが、前回も盛りだくさんの分析を行い報告書が100ページを超えています。懇談会に参加される方全員にその分量を見ていただくかということです。今伺った視点については重要であると認識していますので対応したいと思います。

年代別や居住年数別の集計作業自体は済みつつあるため、この場で取り急ぎお知りになりたい数値があれば確認できます。

【G 委員】 地域包括ごとに地域懇談会をするのですから、それらをわかるようにしてほしいということです。居住地区として「船穂・牧の原」となっていますが、今は別々で、牧の原は本塾のほうに付いています。この区分は第4次のものをそのまま使っているのではないですか。現状をしっかりと認識し分析していただかないと困ります。前のままでいいということではないと思います。

【事務局】 地域懇談会の時には、地域包括の圏域ごとの数値をお示しできるようにします。

【G 委員】 お願いします。

【議長】 2月の懇談会のことは、議題（4）で出てくるのですか。懇談会をどう進めるのかというところと関連します。各地域に根差した課題を、アンケート調査の結果に即して見ていただき、自分の地域はどうかという生活実感と地域の実態を通して課題を出して考えていただく材料として使うのであれば、地域包括の圏域ごとの資料はざっくりとしたものでいいので出していただきたいと思います。全市のものを出す必要はないのではないのでしょうか。懇談会をどうするのかで違ってくるため、後ほど伺いたいと思います。

地域によりさまざま違ってくると思いますが、もう少し詳しく居住地については伺っ

ているということですので、精度の細かいデータが出てくると思われるため、それは次回の会議でその結果を我々が解釈するための分析をこれから行ってくださると思います。今日はこれ以上議論のしようがないので、まずは見ていただくということでしょうかと思います。

【L 委員】 アンケートの有効回収率が非常に高いというのは、住民の関心度が高いということではないかと思います。1ページの※印で対象団体の記載がありますが、障害者団体も入っているのですか。

【事務局】 市民活動支援センターの登録団体の中に、障害のある方に関する活動をされている団体がありましたので、そちらの団体に対して実施しています。

【L 委員】 市民活動支援センターに登録していない団体も複数あります。障害のある方は意見を言う機会や方法が限られていますので、きめ細かな対応が必要だと思います。

④「身近な地域で気になること、問題と感ずること」という問いに対し、No. 2「障がいのある人の暮らしに関すること」という項目が189件で12%と低い数値となっていますが、障害のある方は高齢者と比べ人数も少なくコアな存在で、ごく一部の方の課題となってしまいます。この辺りの意見や気持ちをどう汲み取っていくのかということでは非常に大事な視点であるため、市民活動支援センター登録団体の中に障害者団体もあるということですが、障害者団体へのきめ細かい聞き取りも必要であると感ずました。

【事務局】 アンケートの他にも地域に出向き、実際に生の声を聞いていきたいと考えていますので、そういった中で障害関係の活動をされている方の所へも行き、声を拾っていききたいと思います。

【議長】 次回の会議で調査票を出す時には、大変ですが、できればどこに聞いたのか団体の一覧を出していただくと、他にも聞いたほうが良いと思われる団体を指摘できると思いますので、よろしくお願いいたします。その他いかがでしょうか。市民アンケートの回収率が52.3%という、大変高い、驚くべき数値です。郵送とWebで回収したようですが内訳はわかりますか。

【ジャパン総研】 正確な数値はわかりませんが、Webが3割くらいで、近年はWebでの回答が高まってきたはいますが、その中でも比較的高かったと思います。

【議長】 紙のアンケートを郵送し、そこにQRコードを付けて回答してもらったのですか。

【ジャパン総研】 おっしゃる通りです。

【議長】 最近では、紙で送り返さず、こういうものを送り、QRコードを読み取りデータを送ってもらうやり方になっており、結構それにより返ってくる割合が高まるといいのですが、それにしてもうまくいったパターンでしょうか。その辺りも分析してほしいと思います。これだけ関心が高いのはどういうことなのかということなんです。

各設問の回答の全体件数が1569件にならないものもあり、また複数回答をした場合にはどのようにカウントするのですか。

【ジャパン総研】 設問によっては回答者を限定したものもあります。「全体」の件数は、その設問の回答者が何名であったかを示しています。その横の「100%」は余計だったかもしれません。

【議長】 「合計」と書くと、複数回答のそれぞれを足しあげたもののように感じてしまうかと思えます。その辺はよろしくお願いします。その他お気づきの点はありませんでしょうか。この後さまざまデータが出てくる時に、既存の他の計画策定で使っている調査結果や障害の福祉計画の調査結果をこの計画にどう反映できるか考えなければなりません。いわゆる対象者が多くないところの問題はこういうところでは出てきにくいのですが、数が少なくても地域で出た課題となりますので、それをどう反映させていくかということです。こういう調査では表面化しにくい問題ですが、地域の中でどのように進めていくのかということは、計画にどう落とし込み、地域課題をどう明らかにしていくのかという見せ方の話です。その辺りの確認方法を次回以降議論していきたいと思えます。今回はあくまでもこういう調査をしたということの経過報告でしたので、引き続き分析を進めていただきたいと思います。

#### 議題（4）地域福祉計画策定に向けて今後の進め方

【議長】 「地域福祉計画策定に向けて今後の進め方」について、事務局から説明をお願いします。

【ジャパン総研】 議事(4)について説明

【議長】 今後の策定スケジュール案について事務局からご説明いただきました。ご意見やご質問はございますか。

【D委員】 第4次計画については、地域福祉計画の本編と、成年後見制度の利用促進計画の2つが含まれていましたが、第5次計画はその2つに再犯防止推進計画が入るというイメージですか。

【事務局】 おっしゃる通りです。そのように予定しています。

【議長】 その他いかがでしょうか。  
地域懇談会はどういうふう企画されているのですか。日にちや場所及びどのようにやるのか等はもう決まっていますよね。我々が全く知らないのはどうかと思えます。

【事務局】 内容は具体的にはまだ詰めていませんが、アンケートの中で見えてきた各地域の課題等について、実際にそこに住んでいる方々の意見を伺いながら、どんなことが市でできるのかということ話し合っていきたいと思っています。日にちは2月中旬から後半にかけて、5か所に分けて実施する予定です。前は広報をしなかったのですが、今

回は幅広く地域の方に来ていただくということで、実施する1か月前くらいの1月15日の広報とホームページで募集をかけ、各地域で定員20～30名で各部屋を取っています。いろいろな年代の方が来られるようにと考えています。

【議長】 準備から進行まですべて、事業者がやっていくのですか。

【事務局】 ジャパン総研の方と連携し、どのような内容で組んでいくのかというところも相談していく予定です。

【B委員】 地域包括圏域とは、どんなものがあるのですか。具体的にはいくつあるのでしょうか。

【事務局】 包括圏域は5つあります。高齢者の総合相談窓口として地域包括支援センターを5か所つくっており、それぞれが圏域ごとになるように地域を分けています。

【B委員】 印西市を5つに分けているということですね。

【事務局】 そうです。アンケートもなるべくその圏域に合わせるようにデータを取っています。

【議長】 1会場20人から30人ぐらいを広報で公募するということですが、印西市は11万人で、1圏域2万から3万ぐらいのところから集めるわけですね。広報で集まりますか。

【G委員】 地域懇談会の案内は先日頂戴しましたが、地域包括ごとに民生委員・児童委員が5名、支部社協が5名、それに市民から応募した方たちと包括の生活支援コーディネーターが入り、地域ごとの課題を検討するという案内でした。まだ、実施するという人と人集めの依頼だけで、内容はこれからになると思います。そのため、包括の圏域ごとにしっかりとした数値を出してもらわないとできないという話をしました。2月に地域懇談会をしますが、その結果は3月の計画推進委員会に反映できるのですか。

【ジャパン総研】 計画に反映させていく作業は来年度になると思いますが、地域懇談会で出た意見の報告はできます。

【G委員】 それをしないと地域懇談会をする意味がないので、そこはしっかりと取りまとめて反映していただきたいと思います。

【議長】 先日、他市でも地区懇談会を地区ごとに実施し、商工会関係や青年会議所関係の方、小学生にも出てもらい、非常に盛り上がりました。地域の課題を掘り起こすというよりは、アンケート結果を基に、地域でどんな暮らしをしていて、どんな地域であったらいいと思うかというような、多少ビジョン的な話にはなったと思いますが、和気あいあいと話し合いをされていました。自分の住んでいる地域に関心があって集まり、普段接している民生委員や地区社協の方とは別のメンバーが加わったことで、少し違った観点から、刺激を受けながら話ができました。懇談会は課題を1つ抽出し話し合う場

ですが、この懇談会を通して地域に関心を持ってもらい、担い手を増やすという側面も持たせなくてはならないと思います。懇談会も地域福祉推進の一部であるというイメージでいくと、キャパシティの問題があるので2、30名になってしまうのですが、もっと広くいろいろな年代の方に集まってもらい、意見交換ができ、こんなことをやっているということ知ってもらう場にもして行ってほしいと思います。今回は直近の話になりますが、ぜひいろいろな方に声かけをし、普段福祉に関わらないような人にも出てほしいです。せっかくこれだけ多彩な委員として選んでいただいた我々も、都合がつけば参加し、地域の様子を見に行き、市民の意見を計画に反映していければよいと思います。懇談会の予定が決まりましたら、私たちにも教えていただけないでしょうか。3月の会議の時にはその集計結果が出てきますので、それを基に印西市の地域課題について議論していただきたいと思います。その他いかがでしょうか。議題は以上になります。それでは事務局にお返しします。

## 6 その他

**【事務局】** 次回の委員会は3月に開催を予定しており、追って通知いたします。今日、第4次の評価はどうだったのかといったような意見もいただいていますので、なるべく早めにお手元に届くように準備いたします。

地域懇談会の実施予定についても、資料をお送りする時に、通知を差し上げたいと思いますので、ご都合がよろしければご参加ください。

2月13日 ふれあいセンターいんば  
2月17日 サザンプラザ  
2月20日 船穂コミュニティセンター  
2月27日 文化ホール  
2月28日 本埜支所

以上の5か所で地域懇談会の開催を予定しています。

**【事務局】** 地域懇談会は、5圏域5か所でしかできないため、皆様のいろいろな声をお聞きするというところで、実際に20地区を目指し、地域に出向いていこうと考えております。そういった中で、地域包括にも相談していますが、先ほど話のあった障害者の団体等、聞きに行ったほうがいいというようなご意見がございましたら、事務局までお寄せください。

## 7 閉会

**【事務局】** 「令和6年度第1回印西市地域福祉計画推進委員会」を閉会します。

令和6年度第1回印西市地域福祉計画推進委員会会議の会議録は事実と相違ないことを承認する。

令和7年1月15日

署名委員 大下 誠

署名委員 嶋田 孝雄